

AXIS Device Manager Edge

目次

バージョン情報	3
組織について	4
使用に当たって	5
My Axisアカウントを登録する	5
クライアントをインストールしてアカウントをアクティブにする	5
組織の作成	5
エッジホストをインストールする	5
エッジホストの申し立て	6
デバイスの管理	7
検出された装置をエッジホストに追加する	7
IPアドレスからデバイスを追加	7
IPアドレス範囲から装置を追加する	7
ファイルから装置を追加する	7
デバイスにログインします。	8
AXIS OSの管理	9
モデルに基づくAXIS OSバージョンの管理	9
エッジホスト上のAXIS OSを管理します。	9
現在進行中および完了したAXIS OSアップグレードの表示	9
トラブルシューティング	10
ファイアウォールの設定方法	10

バージョン情報

AXIS Device Manager Edgeは、システム管理者が組織のネットワーク上でAxisデバイスを検出、設定、操作するためのインターフェースを提供します。

Axisデバイス管理クライアント

クライアントとは、必要に応じて使用できるデスクトップアプリです。また、システムを管理するための常に利用可能なユーザーインターフェースでもあります。専用のマシンで、ローカルにインストールされたエッジホストと一緒に実行することも、エッジホストとは別に、リモートで接続されたラップトップで実行することもできます。クライアントはユーザーにシステムの全体的なステータスと、すぐに利用可能な管理アクションを表示します。

エッジホスト

エッジホストは、常に利用可能なオンプレミスの管理サービスで、カメラなどのローカルデバイスのメンテナンスを担当します。また、エッジホストはAxisリモート管理サービスへのリンクとしても機能し、同じAPI機能が、Axisサービスプラットフォームを介したサイトのリモート管理をサポートします。

注

クライアントは、AXIS Device Manager EdgeとAXIS Device Manager Extendの両方で使用されます。AXIS Device Manager Extendの拡張機能を使用できるかどうかは、そのソフトウェアのライセンスを所有しているかどうかによって異なります。

組織について

組織は、Axisシステムインストールの仮想表現であり、クラウドサービスの中心に位置しています。組織は、アクセスを規制し、最大限のセキュリティを確保する階層構造で、会社内のすべての装置とユーザーアカウントをホストします。同時に組織により、大企業だけでなく中小企業でもユーザーと装置の柔軟な管理が可能になります。

- 新しい組織を作成すると、その組織の所有者になります。組織はシステムをAxisクラウドサービスのユーザーに接続します。
- ユーザーを組織に招待できます。を参照してください。
- ユーザーにさまざまな役割を割り当てることができます。
- 組織にはデフォルトのフォルダーが含まれており、そこからニーズに合った組織構造の構築を開始できます。組織はフォルダーやサブフォルダーに構造化できます。通常、フォルダーは組織内のシステムの物理的なサイトまたは位置を表します。
- 組織内のシステムのライセンスを管理します。
- 組織を作成するには、My Axisアカウントが必要です。

使用に当たって

My Axisアカウントを登録する

axis.com/my-axis/loginでMy Axisアカウントを登録します。

My Axisアカウントの安全性を高めるため、多要素認証 (MFA) を有効にしてください。MFAは、ユーザーの身元確認のために別の認証レイヤーを追加するセキュリティシステムです。

MFAを有効にするには:

1. axis.com/my-axis/loginに移動します。
2. My Axisの認証情報を使用してログインします。
3.  に移動し、[Account settings (アカウント設定)] を選択します。
4. [Security settings (セキュリティ設定)] をクリックします。
5. [Handle your 2-factor authentication (2要素認証の処理)] をクリックします。
6. My Axisの認証情報を入力します。
7. 認証方法として [Authenticator App (TOTP) (認証アプリ(TOTP))] または [Email (電子メール)] のいずれかを選択し、画面の指示に従います。

クライアントをインストールしてアカウントをアクティブにする

axis.comの製品ページにアクセスし、Axisデバイス管理クライアントをダウンロードします。

1. アプリケーションをダウンロードした場所を特定し、クリックしてインストールします。
2. クライアントを選択し、[Install (インストール)] をクリックします。
3. お使いのMy Axisアカウントでサインインします。
4. アクティベーションを完了するには、電子メールアドレスを確認します。
5. 組織を作成するか既存の組織に参加します。

組織の作成

装置をシステムに追加するには、組織のメンバーである必要があります。これは、1つ以上の施設で装置を安全に管理、保護するためです。組織のメンバーではない場合は、セットアップアシスタントがポップアップ表示され、プロセスを案内します。

組織を作成する:

1. My Axisアカウントでサインインします。
2. セットアップアシスタントの指示に従います。

追加の組織を作成する:

- 組織名のドロップダウンメニューに移動します。
- [+ Create new organization (+新しい組織の作成)] を選択します
- セットアップアシスタントの指示に従います。

エッジホストをインストールする

axis.comの製品ページにアクセスし、エッジホスト (Axis Device Management Server) をダウンロードします。

1. エッジホストをインストールするサーバーを選択します。エッジホストは、可能な限りデバイスの近くのサーバーにインストールすることをお勧めします。
2. このサーバー上でインストーラーを実行します。

エッジホストの申し立て

Axisのデバイス管理クライアントからデバイスへの安全な接続を作成するには、まず組織に対してエッジホストの申し立てを行う必要があります。

1. ステータスが **[Unclaimed (未請求)]** のエッジホストをクリックします。
 - 1.1. リストにエッジホストがない場合は、**[Add new edge host (新規エッジホストを追加)]** をクリックします。
 - 1.2. エッジホストが設置されている場所のIPアドレスを入力します
2. エッジホストの名前を入力する
3. オプションの説明を追加する (推奨)
4. **[Claim edge host (エッジホストの申し立て)]** をクリックします

デバイスの管理

検出された装置をエッジホストに追加する

1. [Edge hosts (エッジホスト)] に移動します。
2. 装置を追加する申し立て先エッジホストをリストで選択します。
3. [Devices (装置)] > [Discovered (検出済み)] に移動します。
4. 追加するデバイスを選択するか、選択列の一番上にあるボックスにチェックを入れてすべてのデバイスを選択します。
5. [Add devices to edge host (装置をエッジホストに追加)] をクリックします。

装置が [Managed (マネージド)] タブに表示され、そのステータスを [Edge host overview (エッジホストの概要)] で確認できます。

IPアドレスからデバイスを追加

サブネット、個々のIPアドレス、またはIP範囲から自動的に検出されない装置を追加します。

IPアドレス範囲から装置を追加する

1. 組織が申し立てしたエッジホストに移動します。
2. [Settings > Device discovery (設定 > 装置検出)] に移動します。
3. [Add by IP (IPで追加)] をクリックします。
4. [Manual entry (手動エントリ)] を選択します。
5. IP範囲を入力します。
6. [Add IP addresses (IPアドレスを追加する)] をクリックします。
7. [Devices (装置)] > [Discovered (検出済み)] に移動します。
8. 追加するデバイスを選択するか、選択列の一番上にあるボックスにチェックを入れてすべてのデバイスを選択します。
9. Add devices (デバイスを追加) をクリックします。

ファイルから装置を追加する

1. 組織が申し立てしたエッジホストに移動します。
2. [Settings > Device discovery (設定 > 装置検出)] に移動します。
3. [Add by IP (IPで追加)] をクリックします。
4. [Import from file (ファイルからインポート)] を選択します。
5. IPアドレスを含むカンマ区切り (.CSV) ファイルを選択します。
6. [Import (インポート)] をクリックします。
7. [Devices (装置)] > [Discovered devices (検出された装置)] に移動します。
8. 追加するデバイスを選択するか、選択列の一番上にあるボックスにチェックを入れてすべてのデバイスを選択します。
9. Add devices (デバイスを追加) をクリックします。

注

ファイルには次の情報が必要です。

IPアドレスの列のヘッダー。

1つの列。

最大25,600のIPアドレス。

デバイスにログインします。

1. [Edge hosts (エッジホスト)] をクリックします。
2. エッジホストを選択します。
3. [Devices > Managed (装置 > マネージド)] に移動します。
4. アクセスするデバイスを選択するか、選択列の一番上にあるボックスにチェックを入れてすべてのデバイスを選択します。
5. [Log in (ログイン)] をクリックすると、複数の装置に自動的にログインします。
6. ユーザー名とパスワードを入力します。
7. [Log in (ログイン)] をクリックします。

注

ユーザー名とパスワードが正しい場合、[Status (ステータス)] に [Reachable (到達可能)] と表示されます。

AXIS OSの管理

Axisのデバイス管理クライアントを使用すると、各組織内の複数のデバイスのオペレーティングシステムを管理できます。

組織内のすべての装置で使用可能なAXIS OS更新のリストをモデル別に表示するには、[Home (ホーム)] > [AXIS OS inventory (AXIS OSインベントリ)] に移動します。特定のエッジホストで利用可能なAXIS OSアップデートのリストは、エッジホストを選択して [AXIS OS inventory (AXIS OSインベントリ)] に移動します。

モデルに基づくAXIS OSバージョンの管理

組織全体でAXIS OSをモデル別に管理する:

1. [Home > AXIS OS versions (ホーム > AXIS OSバージョン)] に移動します
2. 推奨のAXIS OSバージョンのリンクをクリックします。AXIS OSアップグレードオプションが開きます。
3. [Upgrade to (アップグレード先)] ドロップダウンメニューをクリックして、利用可能なファームウェアを確認します。最新のAXIS OSバージョンがあらかじめ選択されます。
4. [Upgrade (アップグレード)] をクリックします。

エッジホスト上のAXIS OSを管理します。

エッジホストに追加された装置の一部またはすべてのAXIS OSを管理する:

1. [Edge hosts (エッジホスト)] に移動します。
2. アクセスするエッジホストをクリックします。
3. [Devices (装置)] に移動します。
4. 管理するすべてまたは一部の装置を選択します。
5. アクションメニューの [AXIS OS] アイコンをクリックします。
6. リスト内のモデルのすべてまたは一部を確認します。
7. AXIS OSバージョンを変更する場合は、推奨されたバージョンをクリックして、装置ごとに利用可能なバージョンを確認してください。最新のAXIS OSバージョンがあらかじめ選択されます。
8. [アップグレード] をクリックします。

現在進行中および完了したAXIS OSアップグレードの表示

特定のエッジホストに接続された装置の進行中のソフトウェアアップグレードを表示する:

1. [Edge hosts (エッジホスト)] をクリックします。
2. アクセスするエッジホストをクリックします。
3. [Log (ログ)] に移動します

進行中のソフトウェアアップグレードを確認する:

4. [Log (ログ)] > [Ongoing tasks (進行中のタスク)] に移動します

トラブルシューティング

ファイアウォールの設定方法

Axisのデバイス管理クライアントにはaxis.comドメインとそのサブドメインへのアクセス権が必要です。

エッジホストがAxisサービスと通信するには、次のIPアドレスとポートを組織のファイアウォールの許可リストに追加する必要があります。

- 40.127.155.231 (EU)、ポート443
- 52.224.128.152および40.127.155.231 (米国)、ポート443
- パブリックDNSサーバーIP、ポート53

または、ファイアウォール設定でprod.adm.connect.axis.comドメイン (上記のIPアドレスを指すDNS Aレコード) を使用することもできます。

このエッジホストは、すべての送信リクエストにprod.adm.connect.axis.comドメイン名を使用します。

この方法では、ネットワークでパブリックDNSサーバーを使用し、DNSサーバーIPアドレス (およびデフォルトのポート53) へのトラフィックを許可する必要があります。

注

ポート設定の詳細については、AXIS Device Manager Extendのホワイトペーパーを参照してください：一般的なシステム設定。

T10225135_ja

2025-09 (M1.5)

© 2025 Axis Communications AB